

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

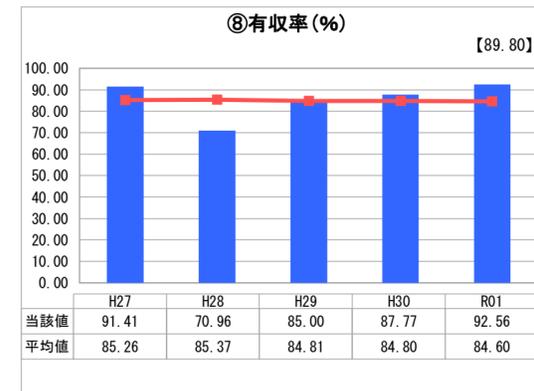
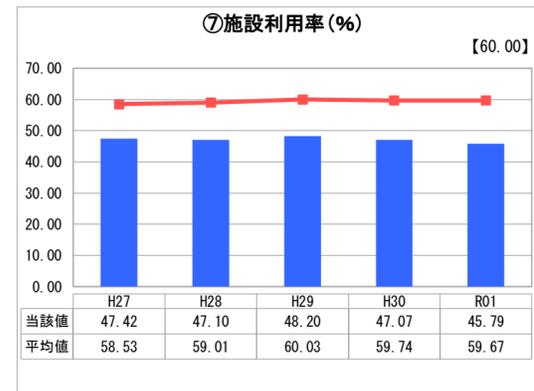
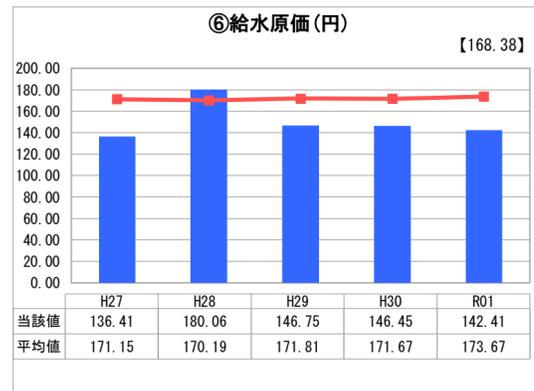
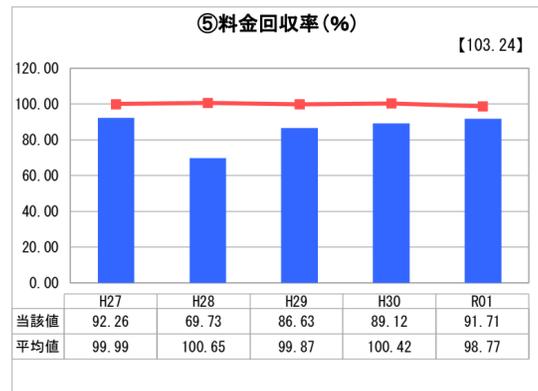
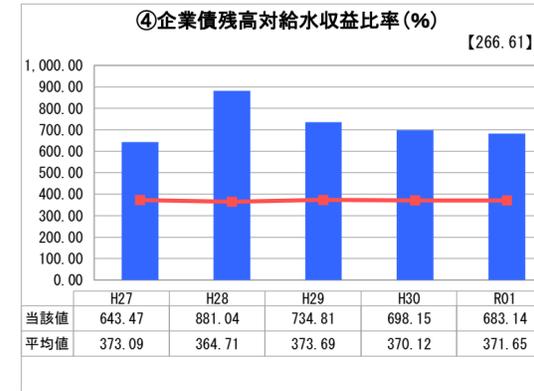
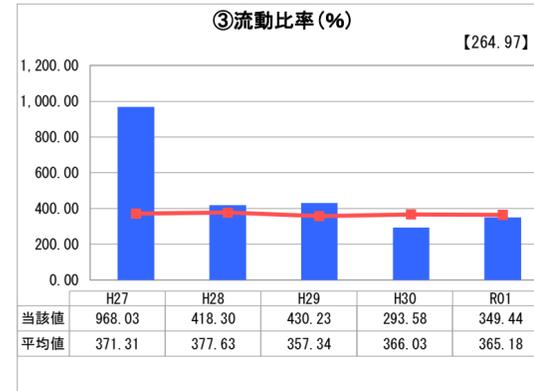
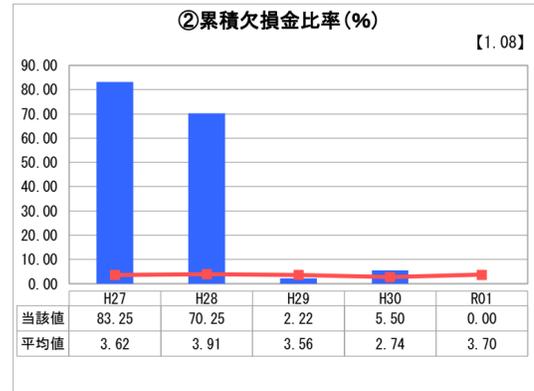
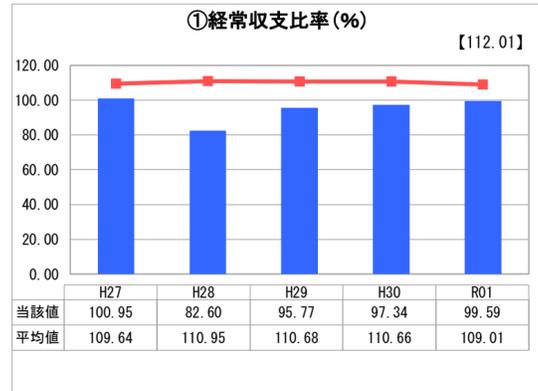
熊本県 益城町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	53.35	94.37	2,780	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,099	65.68	503.94
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
31,262	20.53	1,522.75

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

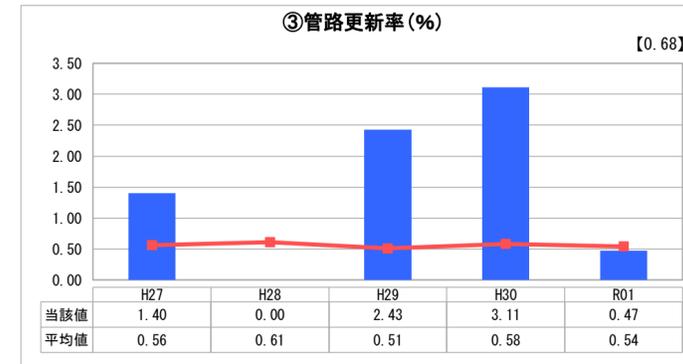
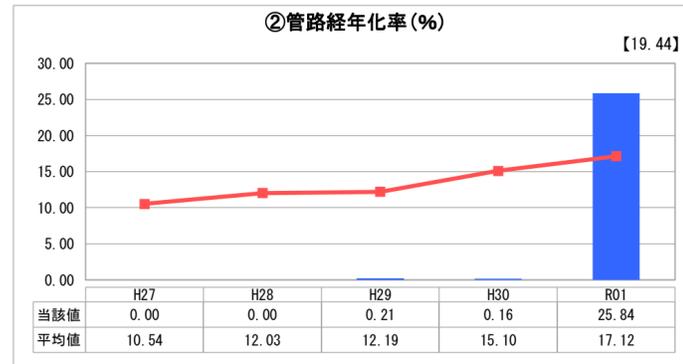
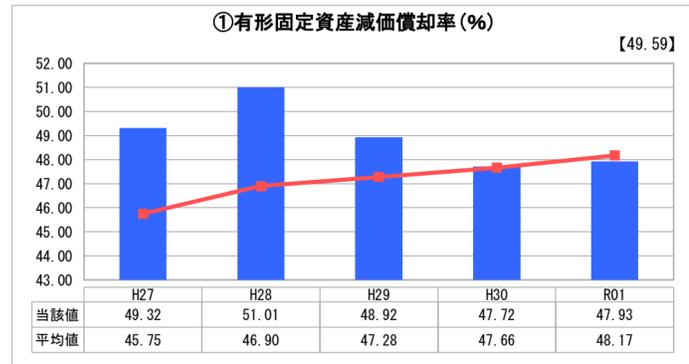
### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は前年度比としての変動は少ないが、類似団体平均値と比較して下回っています。令和2年1月に水道料金を改定したため、次年度も改善が見込まれます。  
 ② 累積欠損金比率は0%となっており、改善されています。  
 ③ 流動比率は類似団体平均値と比較すると低いものの100%を超えており、短期的な支払能力は十分備わっています。  
 ④ 企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値及び全国平均を上回っています。令和2年1月に水道料金改定を行ったため、次年度以降は改善が見込まれるが、経営改善を図っていく必要があると考えられます。  
 ⑤ 料金回収率は平均を下回っていますが、令和2年1月に水道料金を改定したため、次年度以降に改善が見込まれます。  
 ⑥ 給水原価は平均値より安価な状況が継続しています。  
 ⑦ 施設利用率は変動が少ない状況です。効率的な施設整備が求められます。  
 ⑧ 有収率は平均値よりも高い数値となっています。今後も計画的な老朽管の更新や漏水対策に取り組んでいきます。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は類似団体と同様な数値ではあるが、償却資産の老朽化が進んでおり、更新投資を検討する必要があります。  
 ② 管路経年化率は高い水準となっており、計画的に老朽管の更新を行っていく必要があります。  
 ③ 管路更新率は平均値と同程度の水準となっている。今後は予定されている復興事業に伴う配水管の更新及び耐用年数を経過した老朽管の更新を計画的に進めていきます。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

経営状況としては、経常収支比率が100%を下回っているものの、令和2年1月に水道料金の改定を行ったので改善すると予想され、流動比率は健全な水準を維持しています。しかし、今後は施設・管路の更新需要の増大等が見込まれるため、アセットマネジメントや基本計画を策定し、事業の規模適正化や長期的な収支予測をたて、計画的に事業を行うよう取り組んでいく必要があります。